

商標ガイドライン及びロゴ・アイコンマニュアル

2020.06

Ver.1.1

商標ガイドライン

+メッセージ商標とは、株式会社 NTT ドコモ、KDDI 株式会社、ソフトバンク株式会社の3社(以下「携帯3社」といいます。)がそれぞれ提供するメッセージングサービス「+メッセージ」に係る商標(文字商標「+メッセージ」、+メッセージロゴタイプ及び+メッセージアイコンをいいます。)を総称していいます。+メッセージ商標をご使用になる場合は、以下の+メッセージ商標ガイドライン(以下「本ガイドライン」といいます。)及びロゴ・アイコンマニュアルに記載の条件をお守りください。+メッセージ商標をご使用になる方(以下「使用者」といいます。)が本ガイドライン及びロゴ・アイコンマニュアルの各条件につき同意しない場合は、携帯3社は+メッセージ商標の使用を許諾しません。

- 1 +メッセージ商標には、一切変更を加えないで下さい。
- 2 +メッセージ商標は、単独で使用するものとし、他のグラフィックや テキスト要素との抱き合わせや、他のロゴや商標の一要素となるように 用いてはなりません。
- 3 使用者は、+メッセージ商標を使用するにあたり、法令諸規則を遵守しなければなりません。+メッセージ商標の使用にあたっては事実に基づき、誤解を招かない方法でなければなりません。
- 4 使用者は、+メッセージと全く関係のないところに+メッセージ商標を使用してはなりません。また、携帯3社やその商品・サービス等の信頼を失墜させる使用をしてはなりません。使用者は、理由の如何を問わず携帯3社から+メッセージ商標の使用を停止するよう指示を受けた場合直ちにその指示に従うものとします。
- 5 使用者は携帯 3 社が + メッセージ商標に関する権利(著作権、商標権を 合み、これらに限りません。)を有することを認め、+ メッセージ商標と 混同を招く類似した商標については、その採用、使用、登録又は登録出 願を一切行わないことに同意していただきます。使用者は、+ メッセージ 商標について、本ガイドラインに基づく使用権のほかは何ら権利を得る ものではなく、携帯 3 社が + メッセージ商標から得る利益を損なうよう な行為を一切行わないものとします。

- 6 携帯 3 社は、第三者の権利の侵害の有無、商品適格性及び特定目的適合性の黙示保証などを含め、明示的又は黙示的であるかを問わず、+メッセージ商標に関していかなる保証もいたしません。携帯 3 社は使用者が本規約に基づいて+メッセージ商標を使用したことによって発生したいかなる損害についても一切の責任を負わないものとします。使用者は、自己の責任において+メッセージ商標を使用するものとし使用者が+メッセージ商標を使用したことによっていかなる損害を被った場合にも、損害賠償等の責任から携帯 3 社を免責することに同意します。
- 7 文字商標「+メッセージ」が表示されている文書や物品には、「+メッセージは、株式会社 NTT ドコモ、KDDI 株式会社、ソフトバンク株式会社の登録商標です。」という文言を記載してください。
- 8 使用者が本使用規約の各条件につき同意しない場合は、携帯 3 社は + メッセージ商標の使用を許諾しません。

ロゴ・アイコンマニュアル

はじめに

- 1.制作される際には、本デザインマニュアルを参照の上、規定を遵守して下さい。
- 2. ロゴ、アイコンについては必ず提供されたデータを使って下さい。
- 3. 本マニュアルの転載を禁じます。
- 4. 自己の+メッセージ公式アカウントの紹介又は+メッセージ配信サービス及び その販売を行う事業を紹介を目的にロゴ・アイコンをご利用される方は 本マニュアル以外に『「+メッセージ」商標使用規約」』の遵守も必要となります。

これらは+メッセージ(プラスメッセージ)が展開するイメージを視覚的に統一することを目的とします。

なお、ロゴの再現にあたっては、必ず別添のデータを使用して下さい。むやみに手を加えたり、作図をして使用しないで下さい。

※原則は、スミ90%を基本カラーとします。

ロゴデザイン



基本カラー



分解色 : CO% MO% YO% K9O%

RGB :R62% G58% B57%

これらは+メッセージ(ブラスメッセージ)が展開するイメージを視覚的に統一することを目的とします。

なお、ロゴの再現にあたっては、必ず別添のデータを使用して下さい。むやみに手を加えたり、作図をして使用しないで下さい。

ロゴデザイン



基本カラー(ブルー)



分解色 :C80% M69% Y0% K0%

RGB :R79% G75% B249%









ロゴのアイソレーションは下記のとおりに規定します。

アイソレーションとは、ロゴの視認性を確保するため、他の表示要素との間に十分な間隔を設けることです。

下記基準は最小の間隔を示したもので、ロゴの表示の大小に関わらず、この間隔は適用されます。

原則として、この範囲内に文字、デザイン要素を配置することは避けて下さい。



ロゴと背景色

ロゴのカラー表示は原則として、指定のブルーとしますが、 下記に示した規定の範囲内で表現が可能です。 使用する目的や効果、材質などを考慮し、ロゴの識別性を保つようにしてください、

背景が白い場合

ナメッセージ

背景が白い場合

デメッセージ

背景がスミ50%未満の場合

デスッセージ

背景がスミ50%以上の場合



背景が明るい色の場合

ナメッセージ

背景が暗い色の場合

ナメッセージ

背景が同系色の場合



背景がグラデ**ー**ションの場合



白黒印刷の場合



■規定外の色の使用をしないでください。



■グラデーションを使用しないでください。



■アウトラインでの使用をしないでください。



■パターンとしての使用をしないでください。

■バランスの変更をしないでください。



■位置関係の変更をしないでください。



■文字間の変更をしないでください。



■変形をしないでください。



■陰影をつけないでください。



■ふちどりをつけないでください。



■その他の要素をつけないでください。



■ロゴの近くに記号を置かないでください。



ロゴとアイコンを同時に使用する際のアイソレーションは下記のとおりに規定します。 アイソレーションとは、ロゴの視認性を確保するため、他の表示要素との間に十分な間隔を設けることです。 下記基準は最小の間隔を示したもので、ロゴの表示の大小に関わらず、この間隔は適用されます。 原則として、この範囲内に文字、デザイン要素を配置することは避けて下さい。

基本



ロゴよりもアイコンを大きくする場合

※下を揃えアイコンを拡大してください。



同系色の上にアイコンを配置する場合

※下を揃えアイコンに白罫線をつけて下さい。



※アイコンの外側に0.2mm

アイコンのアイソレーションは下記のとおりに規定します。 アイコンの視認性を確保するため、他の表示要素との間に十分な間隔を設けています。 下記基準は最小の間隔を示したもので、アイコンの表示の大小にかかわらず、この間隔は適用されます。 原則として、この範囲内に文字、デザイン要素を配置することは避けてください。 また、最小使用サイズ以下での使用は十分な視認性が確保できないため禁止しています。



最小使用サイズ 20pixel/7mm



※画面上で使用する場合の最小サイズは規定していませんが 「白枠吹き出し」の形状や視認性を保てる大きさで使用してください。 ■変形しないでください。



■装飾(影・縁取り・立体表示)をしないでください。



■規定外の色を使用しないでください。



■アイソレーション範囲内に他要素を配置しないでください。



■視認性を低下させる背景の使用はしないでください。



■バランスを変えないでください。



■縁取りの色を変更しないでください。

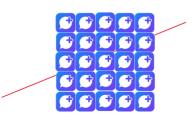


■地紋として使用しないでください。



■他の要素と組み合わせての使用はしないでください。 ■パターンとして使用しないでください。





■背景がキーカラーと同系色で、アイコンが認識しづらい場合は、白罫線をつけてください。





デザイン

Square type 45×45px



Round type 45×45px



Wide type 119×30px



 $30 \times 30 px$



 $30 \times 30 px$



79×20px

